

11/28 (木) ヘルスケアセミナーvol.1『ホントに知りたい性の話』

【概要】

開催日：11月28日(木)

開場：武蔵大学3号館1階3102教室

講師：染矢明日香氏(NPO法人ピルコン理事長)、あかねえ氏、もえ氏(共にNPO法人ピルコン)

主催：大学保健室

【雑感】

講師はNPO法人ピルコン 染矢さん、あかねえさん、もえさんが来てくださいました。

妊娠の事、性感染症の事、性の多様性について、セクシャルコンセンストなど、性について広くお話ししていただきました。



まずは、女性の妊娠の仕組みについて。

こういった事は、高校生の時までに習ったと思うのですが、おさらいです。

今、都内では梅毒患者報告が女性では20代、男性では20～40代の間で増えています。自覚症状が乏しかったり、しばらくすると症状が落ち着いてしまうため、知らない間に感染してしまうことがあります。今回は練馬区保健所の保健師の方にも来ていただき、練馬保健所で性感染症の検査(HIV、クラミジア、淋病、梅毒)を無料・匿名で受けることが出来ること教えてもらいました。パートナーが変わるタイミングで検査をするのがお勧めだそうです。性感染症は自分が直接性行為をしていなくても、パートナーの過去のパートナーがどんな相手と性行為をしていたかわからない為、感染してしまうことがあります。

治療が必要な場合は医療機関での検査をお勧めしますが、無料でできるので一度検査をすることをお勧めいたします。



今回、相模ゴム工業株式会社さんにもご協力いただき、コンドームのサンプルを提供していただきました。

フィット感や厚み形などいろいろな種類があります。好みや体質（ラテックスアレルギー）によって選んだり、パートナーと試すのかもしれませんが。

コンドームは男性が装着するものですが女性も性感染症の事や妊娠のリスクを考えると女性が自分の意志で着けてもらいたいと伝えるは大事だと思います。

もし、相手がコンドーム装着を拒否したらどうした良いかについて意見を交わしました。皆さんならどうやって相手に着けて欲しいと伝えますか？



コンドームは妊娠を防ぐためのモノだけではなく、性感染症の予防のためにも装着することが大事です。女性がたとえピルを服用していてもコンドームは必要だという事を知ってもらいたいです。

コンドームの装着の仕方について、女性から積極的に質問がありました。男性の場合は、学校で教わることもあるかもしれませんが、女性が学校でコンドームの付け方を知る機会は少ないかもしれませんね。



セクシャルコンセント（性的同意）はイギリスの動画を参考にしました。

たとえお付き合いをしている人でも、夫婦間でも相手が同意をしなければそれは性暴力になります。昨日は同意してもらえたけど気分が変わることもありますから、拒否をされたからといって腹を立てたり暴言を吐くのは良くありません。

紅茶を飲みたくない人、眠っている人に無理やり飲ませるなんて当然しないですよね。SEX を紅茶に置き換えたこの動画はわかりやすいという感想が多かったです。

<https://www.youtube.com/watch?v=-cxMZM3bWy0>

ほとんどの皆さんは、自分の意見をしっかり持っていて 活気のある楽しい会になりました。

武蔵大学保健室ヘルスセミナーは今後もテーマを考えて開催したいと思っています。

（大学保健室 菅野 妙子）